

コロナ危機
乗り越え

希望ある伊勢原に

コロナ対策でもスピード感のない現市政を

小林京子

さんと

Change

チェンジ

市民の皆さんと一緒に
いのち・暮らしを守ります

伊勢原市議4期16年

市政に精通

皆さんと一緒に取り組んで前に進めてきました

- ①子どもの医療費無料化、2歳から小学3年まで拡大
- ②国民健康保険税の引き下げ
- ③介護保険料の引き下げ
- ④学校保健室にエアコン設置
- ⑤公立保育園にエアコン設置
- ⑥要介護者に障がい者控除対象者認定書の発行を実現
- ⑦伊勢原駅北口臨時駐車場の利用料の上限制度をつくる
- ⑧伊勢原市役所駐車場の有料化ストップ
- ⑨青少年センター前駐車場の整備により台数増と舗装を実現
- ⑩重度障がい者福祉タクシー利用券助成の対象者を拡大

財政調整基金を活用

国の交付金8億円と

新型コロナウイルス感染症の拡大防止へ

まずは

急いでPCR検査拡大

医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設へのPCR検査の実施

コロナで打撃を受けているすべての小規模事業者へ20万円の事業費補助	2億8000万円
住民税非課税世帯に1万円支給	2億円
介護事業者への介護報酬の補てん	8000万円
医療従事者、介護従事者、保育士等に感染症「危険手当」を創設する。	3000万円
4月28日～12月末までに生まれた子どもに10万円支給	5000万円
子どもたちの感染防止と教師の過重負担解消のため、小中学校の35人以下学級の実現	3000万円
12月までの給食費の無償化	7360万円
学校トイレ掃除の業者委託	1000万円
感染症に対応した災害時の避難計画策定	0円
合計	7億5360万円

小林京子のプロフィール

- 1951年10月31日 平塚市生まれ
- 神奈川県立平塚江南高校卒業
- 聖徳短期大学保育科卒業
- 世田谷で幼稚園教諭
- 東名厚木病院給食調理員
- 厚木佐藤病院給食調理員
- 1999年4月 伊勢原市議会議員
- 以降、市議会議員4期16年



9/20 伊勢原を
変える日

希望ある伊勢原をつくる市民の会

「希望ある伊勢原をつくる市民の会」は、個人、市民団体、政党の共同の会です。

と一緒に希望を持って暮らせる伊勢原に変えていきましょう。

伊勢原市高森1845うらたビル5階 ☎0463 - 74 - 5835

新型コロナで大変な今こそ

市民のくらし
丸ごと応援。



国の言いなりで

市民の声に背を向ける市政から

小林
京子

さんで

新しい
伊勢原へ

市長のやる気で

ハジメどやれる

わたしたちがつくる希望ある伊勢原

すぐやる施策 10

1 高校卒業までの医療費無料化	2400万円
2 18歳までの国保税の均等割の免除	3500万円
3 給食費を半額、公会計化（市が一括管理）	1億1000万円
4 小中学校の35人以下学級の実現	6000万円
5 返さなくて良い奨学金制度創設	360万円
6 コミュニティバスの拡充・延伸	3000万円
7 かなちゃん手形購入費助成 または5000円のタクシー券助成	4500万円
8 新規就農支援・研修制度の充実、 農畜産物の販路拡大	100万円

予算を組まなくても実現可能

9 公共施設の有料化廃止	0円
10 地域公共事業を計画的に進め、 地元に仕事とお金を回す	0円
合計	3億860万円

- 自校方式の中学校給食を実現
- 「平和といのちを守り育てる地域」を実現
- 誰一人取り残さない市政に
- ジェンダー平等を市政の基本に
- 市民と一緒につくる政策実現
- 豊かな自然と住環境を守り・活かす
- 豪雨・地震など災害に強いまちづくり
- 地域建設業の振興と後継者育成の推進

現市政 あるある
これだけ
問題



新型コロナ感染防止対策では

苦境に立たされている市民や事業者の感染症対策は、近隣他市と比べてスピード感もなく、国からの交付金も活用しきれていません。

これでは市民のくらしや命は守れません。

市政運営では

国の事業など、大型事業には積極的ですが、足元の市民のくらし、地域経済や地元産業・商店を支える政策には「財政が厳しい」の一言で消極的です。これでは、地域は活性化していきません。

税金の使い方は

高山市政は予算段階では、財政が厳しいと危機感をあおり、市民の声には背を向け、年度末には予算を余らせ、貯金への積み立てを行ってきました。市民の税金を有効に使うためには、予算編成の厳格化、抜本的な改革が必要です。



小林京子さんを応援、一緒に市政を変えます。

子どもの医療費を所得制限なしで高校卒業まで拡充や、少人数学級の実現、公共施設の無料化を掲げている小林さんに期待し、応援します。
（新婦人伊勢原支部事務局長 玉田ミエ子）

小林さんの演説を聞く度に「思いは言葉に反映する」と強く感じます。決して滑らかではないし、トットツとした語り口なのですが、聞く者の胸に沁み込めます。それは、小林さんの市民や市政に寄せる思いが、心の底から湧き出る100%本音で語られているからです。市議16年の実績もこのあたりにあるのでは。こんな小林さんを応援します。（沼目 馬場幸子）

今のままでは、これからますます生活が苦しくなるのではないかと。伊勢原市は市民のための政治が不十分です。「誰がやってもどうせ変わらない」ではありません。自分の生活をよくするのは自分の行動です。小林京子さんを応援します。
（東成瀬自治会長 岸圭介）